令和7年度　総合的な学習の時間　全体計画　　江戸川区立葛西中学校

校長名　　荒巻　淳

名称:　　総　合

学校の教育目標	豊かな心 ・自ら進んで学ぼう　・責任を果たそう　・健康な生活を送ろう

国が示す総合的な学習の時間の目標

探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
（1） 探究的な学習の課程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解するようにする。
（2） 実社会や実生活の中から問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。

学校の総合的な学習の時間の目標

1 横断的･総合的な学習や自主的･探求的学習をする。
2 主体的に課題を見つけ,学び,考え,判断し問題を解決する資質や能力を育てる。
3 各教科の知識･技能を活用した学習活動を進め,学び方や物の考え方を確かにする。
4 問題の解決などに主体的,創造的,協同的に取り組む態度を育てる。
5 自分と環境や社会の関わり方を学び,生き方を考えることができるようにする。

育てようとする資質や能力及び態度

知識及び技能

第1学年	第2学年	第3学年
各教科で学習する知識･技能を活用する態度を育てる。	資料や情報の収集法･活用法を学び,課題を解決しようとする態度を育てる。	協力して資料や情報を活用し,課題を解決していこうとする態度を育てる。

思考力、判断力、表現力等

第1学年	第2学年	第3学年
自分の性格や適性についての理解を深める。	職業や上級学校についての知識･理解を深める。	将来についての考えをまとめ,必要な努力をする態度を育てる。

学びに向かう力、人間性等

第1学年	第2学年	第3学年
自分及び他者のことを理解し,協力して課題を解決する態度を育てる。	地域社会や職業･上級学校について理解し,自らの将来について考える態度を育てる。	社会の一員としての責任を果たす態度を育てるとともに,自分の将来について真剣に考える態度を育てる。

〈小学校や地域社会との連携に関すること〉

第1学年	第2学年	第3学年
小学生との進学前交流を通して地域社会の一員としての自覚を育てる。	職場体験･上級学校訪問などの活動を通して,社会の一員としての自覚を育てる。	いろいろなﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ活動に参加することで社会の一員としての責任感を育てる。

内　容	学習対象	学習事項
第1学年	・自然との関わりを体験する。 ・人々の生活を知り,職業に関する知識を深める。 ・ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ活動を通じて地域社会について理解を深める。 ・日本の優れた伝統文化を継承する。	・遠足の目的を達成するために、地域・自然・活動内容等の課題をみつけ自ら解決する。 ・自己の適性、希望を考え職業調べなどに臨ませる。 ・地域のﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ活動への参加。
第2学年	・自然との関わりと収穫の喜びを体験する。 ・職業体験を通じて,勤労観･職業観を身につける。 ・京都･奈良の調べ学習を通じ,日本の伝統･文化を理解する。 ・ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ活動を通じて地域社会についての理解を深める。 ・日本の優れた伝統文化を継承する。	・林間学校の目的を達成するために、地域・自然・活動内容等の課題をみつけ自ら解決する。 ・職業体験学習を通じ働くことの意義を気づかせる。 ・地域のﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ活動への参加。
第3学年	・修学旅行において,日本の伝統･文化を見学･体験する。 ・社会人･高等学校の先生･卒業生の話を聞くことで,自分の将来についての考えをまとめる。 ・ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ活動への参加を通じて地域社会について知る。 ・日本の優れた伝統文化を継承する。	・修学旅行の目的を達成するために、伝統文化・活動内容等の課題をみつけ自ら解決する。 ・各種の講話会を通じ自らの進路選択の参考にさせる。 ・地域のﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ活動への参加。

学習活動	指導方法	指導体制	学習の評価
第1学年 身近な職業調べ、自分を知る、上級学校について 第2学年 職業調べ、自分の将来について考える 第3学年 古都の文化を知る、社会の一員としての責任	・図書館やIpad等を活用した指導。 ・ゲストティーチャーによる指導	・担任外の教職員による指導体制の確立、およびその充実 ・経営委員会などにおける校内の連絡調整と指導体制の確立	・観点の適正化と評価方法や規準の設定